



パチンコ・パチスロの長い歴史と伝統、斬新な発想と手堅いマーケティング、2011年12月にはゴルフ事業に進出し、総合レジャー企業に成長した平和グループ。主力事業の他、地域貢献活動にも力を入れており、近隣住民の間で評判です。

たとえば、開発・営業・管理部門などが集まる東京・台東区東上野。

従業員から有志を募り、東上野地区の清掃活動を定期的に開催しています。2010年10月20日の第1回清掃活動を実施し、この9月で19回目の活動を迎えました。

毎回、参加者が100人程度いることから、10人程度の班を編成し班別でエリアを分担し、清掃活動を実施

毎回100人も参加者が集まる大規模な東上野地区清掃活動



施しています。参加者100人というのはかなりの規模。

参加者からは、こんな声がありました。「ふだん何気なく通勤している道に、予想以上のゴミが落ちていたことに本当に驚きました。ゴミを回収し終わった時は、すがすがしい気持ちになります。清掃途中で、地域の方から『お疲れ様です』『ありがとうございます』『お疲れ様です』という言葉を頂くこともあり、大変気持ちがいいですね」

「会社の社会貢献として取り組んでいる清掃活動には、毎回参加しております。初めはゴミ袋を持って街を歩き回ることを恥ずかしく思いましたが、地域の方に『ありがとう』など



風力・太陽光発電装置があるオリンピア群馬工場

に落ちております。私たちの活動を通して、ポイ捨てする方が少しでも減ればうれしいですね。清掃活動は気持ちが良いので、これからも継続的に参加し地域を美化していきたいと思っております」

のお言葉を頂き、最近では誇りを持って活動に取り組めるようになりました。自主的にはなかなか取り組みなかつたと思います。その点、きっかけをくれた会社には感謝しています。いい経験でした」

社員の声を聞いてみると、平和グループの経営理念「もっと楽しめる未来を作ろう」の精神が従業員に浸透し、事業だけではなく、地域社会での発展をよく考えていることがうかがえます。

省エネ・環境保護にも力

平和グループでは、地域貢献活動の他に省エネ・環境保護にも力を入れていきます。

風力・太陽光発電装置があるオリンピア群馬工場が、その象徴です。ここでは「遊技機におけるトータルエコロジーを目指して」を基本理念に2005年に作り上げられた月産能力3万台の生産拠点。太陽光発電と風力発電で約50万kWhを生み出し、工場の全使用電力の約30%をまかなっています。また、二酸化炭素換算で年間約80トンの排出削減を行っております。

2011年3月11日の東日本大震災と原発事故は、改めて省エネなど環境問題への取り組みの必要性を認識させられました。平和グループでは、遊技機のリユース・リサイクルなどの推進と並行して、地球環境への配慮から、エネルギー問題への取り組みも進めています。平和グループは業界全体・社会全体の未来も考えています。